2026年7月31日

文献の基本的な書き方

※文献は英語で記載すること。

※2026 年 7 月の文献表記の変更について：
英語文献以外の文献に記載していた言語表記をなくしました。また、原著論文とは別に転載論文も個別に引用可能としました。

1. 雑誌の書き方

(1)基本の書式

著者名 ： *雑誌名*, **巻番号**（出版年）, 最初の頁番号. https://から始まる DOI
*1 *2 *3 *4 *5 *6

*1 著者名：ファーストネームやミドルネームはイニシャル。全員列挙 〔⇒以下、他の文献も同じ〕
*2 著者と雑誌名の区切りは「:（コロン）」〔⇒以下、他の文献も同じ〕
*3 雑誌名：２語以上は ISO4 にもとづく略記法（1 語の場合は略記しない）で、イタリック体で記載 〔⇒雑誌の略記例リスト参照〕
*4 巻番号：ボールド（強調）体
*5 頁番号：最初の頁番号のみ（頁番号が巻通しや号通しでない場合は「論文番号」）
*6 DOI：https://から始まる DOI の URL（末尾にピリオドは不要）

表記例

No.	注　記	表　記　例
例1	本会論文誌等の記載	N. Masuko : *Tetsu-to-Hagané*, **77** (1991), 871. https://doi.org/10.2355 /tetsutohagane1955.77.7_871
		A. Laasraoui and J. J. Jonas: *ISIJ Int.*, **31** (1991), 95. https://doi.org/10.2355/isijinternational.31.95
		S. Suzuki and K. Suzuki: *CAMP-ISIJ*, **5** (1992), 1433.
		S. Yamasaki, M. Mitsuhara and H. Nakashima: *Bull. Iron Steel Inst. Jpn.*, **24** (2019), 498.
例２	英語以外の言語の記載	L.M. Lenev and I.A. Novokhatskii: *Izv. Akad. Nauk. SSSR Met.*, **3** (1966), 73.
		E. Mazanek and M. Wyderko: *Stahl Eisen*, **89** (1969), 863.
		Y. Qi, D. Yan, J. Gao, J. Zhang and M. Li: *Iron Steel*, **46** (2011), No.3, 6.
例３	頁番号がなく論文番号がある場合（見かけは同じ）	K. Konstantinou, F.C. Mocanu, J. Akola and S.R. Elliott: *Acta Mater.*, **223** (2022), 117468. https://doi.org/10.1016/ j.actamat.2021.117468

(2)稀な書式 （雑誌の仕様により、表記項目が増えるケースあり）

著者名 ： *雑誌名*, **巻番号**（出版年）, [号番号], 最初の頁番号, [媒体表示]. DOI に代わる URL,（アクセス日）.
*8 *9 *10

*8 号番号：頁番号が巻通し頁番号でなく、号毎の頁番号のときに必要。また Supplement の場合、「Suppl.」と記載
*9 媒体表示：DOI や URL を持たず、紙媒体でない場合に、CD-ROM 等媒体を表示する
*10 URL：DOI を持たないが、該当文献の書誌情報等を特定できる URL を持つとき。この場合、恒久識別子でないことが多いため、アクセス日を併記する

表記例

No.	注　記	表　記　例
例４	号番号の記載	C.H. Lin, S. Machida and H. Yoshinari: *J. Soc. Nav. Archit. Jpn.*, **1993**(1993), No.174, 523. https://doi.org/10.2534/jjasnaoe1968.1993.174_523
例５	紙以外の媒体表示	S. Suzuki and K. Suzuki: *CAMP-ISIJ*, **21**(2008), 111, CD-ROM.
例６	DOI はないが、URL で特定可能な場合	【書誌表示へのリンクがある場合】 J.S. Kirkaldy: *Scand. J. Metall.*, **20** (1991), 50. http://pascal-francis.inist.fr/vibad/index.php?action=getRecordDetail&idt=19831825, (accessed 2022-06-14).
		【PDF のリンクのみある場合】 P. McMillan: *Am. Mineral.*, **69** (1984), 622. http://www.minsocam.org/ammin/AM69/AM69_622.pdf, (accessed 2023-03-20).
例７	鉄と鋼－ISIJ Int.間で転載論文がある場合	基本的には、原著論文を引用する。 ただし、転載論文も原著論文とは別に、一つの文献として、原著論文の後に記載してもよい。 （2026 年 7 月より原著と転載論文の引用文献の記載が変更になり、原著・転載を一つの文献として記載していたのを、それぞれ別の文献として個別に引用することが可能になりました。）

2. 書籍の書き方　※書籍の他、国際会議プロシーディングも含む。

(1)基本の書式

著者名 ： 書籍のタイトル*1, 付随情報*2, [編集者名]*3, 出版社, [出版社所在地]*4, (出版年), 頁番号*5. DOIorISBN*6

*1 書籍のタイトル：雑誌と異なり、略記の必要なし。ローマン体
〔⇒正式な英語タイトルがない日本語タイトルの場合は、ヘボン式ローマ字表記で記載した後、( )付きで英訳タイトルを併記する〕
*2 付随情報：巻番号、改訂バージョンなどの情報、あるいは国際会議プロシーディングの場合は国際会議略称もカンマでつなげる
*3 編集者名:「ed. by」を付けて名前を記載。複数の場合は「et al.」を使用可。なお、編集者と出版社が同じ場合は出版社のみ記載
*4 出版社所在地：不明の場合は記載不要
*5 頁番号：最初の頁番号のみ(書籍での通し頁番号がない場合は、その頁が特定できるように記載)
*6 DOI または ISBN：https://から始まる DOI の URL。DOI を持たない場合は書籍の ISBN を記載

表記例

No.	注　記	表　記　例
例1	本会発行書籍	J. Itami and K. Ushioda: Improvements in the Strength and Reliability of Steels, ISIJ, Tokyo, (1997), 98.
		【鉄鋼便覧】 Y. Ogawa: Handbook of Iron and Steel, 5th ed., Vol.1, ISIJ, Tokyo, (2014), 249. ISBN978-4930980809
		【西山記念技術講座テキスト】 S. Asai: 153rd and 154th Nishiyama Memorial Seminar, ISIJ, Tokyo, (1994), 89.
		【国際会議プロシーディング】 N. Kosaka and Y. Funakawa: Proceedings of the 4th International Symposium on Steel Science 2014, ISSS 2014, ISIJ, Tokyo, (2014), 143.
例 2	日本語タイトルの記載	J. Burke, trans. by K. Hirano and H. Hori: Kinzoku Sohentai Sokudoron Nyumon (The Kinetics of Phase Transformations in Metals), Kyoritsu Shuppan, Tokyo, (1972), 47.
例 3	頁番号の記載	【書籍の通し頁番号ではなく、章毎に頁数がある場合】 K. Tsutsumi, J. Kubota, A. Hosokawa, S. Ueoka, I. Sumi, H. Nakano and A. Kuramoto: Proceedings of the 9th European Continuous Casting Conference, ECCC 2017, The Austrian Society for Metallurgy and Materials, Leoben, (2017), Chapter 3, 265.
例 4	編集者名の記載 DOI の記載	A.D. Rollet, U.F. Kocks, J.D. Embury, M.G. Stout and R.D. Doherty: Proceedings of 8th International Conference on Strength Metals and Alloys, Vol.1, ICSMA 8, ed. by P. O. Kettunen et al., Pergamon Press, New York, NY, (1989), 433. https://doi.org/10.1016/B978-0-08-034804-9.50065-6
例 5	ISBN の記載	W.C. Leslie: The Physical Metallurgy of Steels, McGraw-Hill, New York, NY, (1981), 621. ISBN978-0070377806

(2)稀な書式

1)翻訳者がいる場合の表記：原著者の後に、“trans. by”に続けて翻訳者の名前を記載する(前項の例2参照)
2)紙以外の媒体表示：DOI、ISBN、URL を持たず、紙媒体でない場合に、頁数の後に CD-ROM 等の媒体を記載する(次例 6 参照)
3)プロシーディング等での Web での提供で頁数がない場合(出版社、所在地も不明)：頁番号の代わりに URL を記載、この場合アクセス日を併記する(次例 7 参照)
4)論文中で使用したデータベースやソフトウェアについては、文献では引用せずに、論文中で言及するに留める。文献として上げることができる場合には、次の例 8 表記(データベースあるいはソフトウェア名，バージョン，提供元名称，提供元所在地，(公開年).)の記載を推奨する。

表記例

No.	注　記	表　記　例
例 6	紙以外の媒体表示	K. Tsutsumi, J. Kubota, A. Hosokawa, S. Ueoka, I. Sumi, H. Nkano and A. Kuramoto: Proceedings of 9th European Continuous Casting Conference, ECCC 2017, The Austrian Society for Metallurgy and Materials, Leoben, (2017), 1032, CD-ROM.
例 7	プロシーディング等での Web 提供	H. Harada and M. Tanaka: Proceedings of 5th International Congress on CO_2 Reduction in Steel Industry, (2020). https://hal.archives-ouvertes.fr/hal-01334718, (accessed 2019-09-25).
例 8	データベースやソフトウェアの文献表記	TCS Steel and Fe-alloys Database, Ver.10.1, Thermo-Calc Software, Solna, Sweden, (2020).

3. 学位論文の書き方

修士論文は文献として認めないが、外国の修士論文については公開され内容が一般に確認できるものであれば文献として認めうる。

<基本の書式>

著者名 ： 学位論文の種類， 大学名，（学位授与年）， 頁番号．［DOI または、URL，（アクセス日）］

表記例

	表　記　例
例	Y. Kondo: Doctoral Thesis, Tokyo Institute of Technology, (1981), 17.
	K. Nakama: Ph.D. Thesis, Kyoto University, (2014). https://doi.org/10.14989/doctor.k18276
	S. Sirakami: Ph.D. Thesis, Tokyo University of Agriculture and Technology, (2017). http://hdl.handle.net/10636/00001447, (accessed 2020-04-06).
	G. Krauss: Sc.D. Thesis, Massachusetts Institute of Technology, (1961). http://hdl.handle.net/1721.1/11317, (accessed 2020-12-07).

4. 規格の書き方

<基本の書式> ※規格類は下記に準じて記載する。

規格番号：制定年， 規格のタイトル．

表記例

	表　記　例
例	JIS L 1902: 2008, Testing for antibacterial activity and efficacy on textile products.
	ISO 14404-1: 2013, Calculation method of carbon dioxide emission intensity from iron and steel production -- Part 1: Steel plant with blast furnace.

5. Web サイトの書き方

規定では、「出版物などがない、または入手困難である、引用先が公的機関のホームページなどで、アクセス日が記載されていて、掲載継続性と信頼性が高いと判断される場合に限り、ホームページの引用を認める。」としている。

<基本の書式>

［著者名］： Web ページタイトル, Web サイト提供元, [“報告書の名称”], [（報告書発行日）], 入手先 URL, （アクセス日）.

表記例

No.	注　記	表　記　例
例 1	著者が明確な場合	T. Furuhara: President's Message, The Iron and Steel Institute of Japan, https://www.isij.or.jp/about/index.html #message, (accessed 2023-06-02).
例 2	著者が不明の場合 日本語 Web の場合	Life Cycle Thinking, The Japan Iron and Steel Federation, https://www.jisf.or.jp/business/lca/lct/index.html, (accessed 2022-05-15).
例 3	引用する報告書リストのダウンロード画面を入手先とする場合 （ダウンロード画面に示された報告書の名称を“ ”で囲んで、Web サイト提供元の後に記載する）	White Paper, Ministry of the Environment, Government of Japan,“Annual Report on the Environment, the Sound Material-Cycle Society and Biodiversity in Japan 2018”, (June 5, 2018), https://www.env.go.jp/ en/ wpaper/index.html, (accessed 2019-07-22).
例 4	報告書そのものの URL を入手先とする場合 （Web サイトの基本の書式ではなく、書籍の書き方を準用する）	GHG Protocol Team and Steering Committee: Corporate Value Chain (Scope 3) Accounting and Reporting Standard, World Resources Institute and WBCSD, (2011), https://ghgprotocol.org/sites/default/ files/standards /Corporate-Value-Chain-Accounting-Reporing-Standard_041613_2.pdf, (accessed 2022-04-15).

6. その他

その他、間違いやすい種々の表記例を紹介する。

なお、“manuscript in preparation”,“submitted”,“to be published”,“unpublished research”,“private communication”およびそれに類する表記は認めない。引用したい場合は文中で言及する。

No.	注　記	表　記　例
例 1	SAE Technical Paper 類 （雑誌書式）	K.Sato, Y.Tokita, M.Ono and A.Yoshitake: *SAE Tech. Pap.*, (2003), 2003-01-0606. https://doi.org/10.4271/2003-01-0606.
例 2	Nims クリープデータシート （書籍書式）	NIMS Creep Data Sheet No.48A, National Institute for Materials Science, Tsukuba, (2012).
例 3	旧National Bureau of Standards の発行書籍 （書籍書式）	D.J. Bacon and P.P. Groves: Fundamentals of Aspects of Dislocation Theory, NBS Special Publication 317, Vol.1, ed. by J.A. Simmons, R. deWitt and R. Bullough, National Bureau of Standards, Washington, DC, (1969), 35. M.C. Morris, H.F. McMurdie, E.H. Evans, B.Paretzkin, H.S. Parker, N.C. Panagiotopoulos and C.R. Hubbard: Standard X-ray Diffraction Powder Patterns, NBS Monograph 25, Section 18, National Bureau of Standards, Washington, DC, (1981), 61.
例 4	NIST-JANAF Thermochemical Tables（書籍書式）	M.W. Chase, Jr.: NIST-JANAF Thermochemical Tables, 4th ed., American Institute of Physics, Woodbury, NY, (1998), 154.
例 5	特許　※特許の引用は推奨しない	G.A. Roberts, J.C. Hamanaker, Jr., and L. Pa: Alloy Steels, US Patent, US3117863, (1964).
例 6	受理論文 （巻号を付与されていないが公開されている場合）	【DOI を持つ場合】 K. Nishio, R. Matsumoto, H. Utsunomiya, K. Hayashi, Y. Hidaka and M. Sugiyama: *Tetsu-to-Hagané*, (2023). https://doi.org/10.2355/tetsutohagane.TETSU-2023-012 【DOI を持たない場合】 K. Nishio, R. Matsumoto, H. Utsunomiya, K. Hayashi, Y. Hidaka and M. Sugiyama: *Tetsu-to-Hagané*, (2023), in press.

以上